

DigitalCamera倶楽部

AUG 2019
Vol.164

梅雨時のカメラの手入れ

前号では湿気に弱いこと、乾燥用の機材の紹介をしました。またカメラ本体と共に注意したいのは、ストラップですね。首に掛けたり手で握ったりするので、カビの大好物のたんぱく質が沢山付着します。時には洗剤を付けて洗ったらしっかり日光で乾かすのも良いと思います。

さて、今回はカメラボディ本体の手入れをしましょう。

まずレンズが付いていたら外して、ボディキャップを取り付けます。

次にストラップも外します。

ファインダーには外光が入りにくいように、柔らかなゴムのアイキャップが付いていますからこれも外します。

電池・メモリーも取り外します。



カメラは超精密機械です。上部に出来ていますが、衝撃には十分に気を付けて取り扱いましょう。

またカメラの内部(レンズを外した)は私たちの身体の中と同じで心臓や肝臓が出ていると思って下さい。決して指やブラシなどで触ったりしないで、ブロワーで取れないゴミはメーカーのサービスステーションに持って行って、手入れをして貰ってください。定期健康診断を受けるのと同じです。

愛情をもって手入れをしていれば、きっとシャッターチャンスに良い働きをしてくれると思います。



これで、カメラを買った時の状態になりましたね。

では、いよいよ清掃をはじめましょう。



皆さんはこんな道具をお持ちですね、ブラシ付きのブロワーと強く吹き出せるブロワーです。

これらのブロワーを使ってカメラの周りに着いているゴミやホコリを吹き飛ばして下さい。バッテリーの入る部分とメモリーの入るスロットも丁寧にホコリを吹き飛ばして下さい。

これらの作業をする時に皆さんの体に静電気が溜まっているとカメラにも静電気が溜まって、ほこりを吸い寄せてしまいます。

そのためには室内で靴下を履かずに素足を床に着けて下さい。又ぬれタオルをテーブルの上に置いて、時々手を当てると体内の静電気がアースされて逃げてくれます。

次に綿棒を用意して、細かく入り組んだヶ所の汚れを拭き取ります。パソコン用のクリーナーなどを浸してやると効果的です。

バッテリーやメモリーカードの入れ口の蓋についている部品や蝶番の動く部分も良く掃除しましょう。

細かい部分が終わったら、ティッシュペーパーなどにクリーナーを付けて全体を拭きましょう。手の脂や汚れが沢山ついているので、丁寧に拭きましょう。

この時シンナー類は絶対に使ってはいけません。

拭き取りが終わったらきれいなシリコンクロスで全体を仕上げ拭きします。

さあ、最後の一番難しい場所ですね。

ボディキャップを外してください。カメラを下向きにして、ブローから風邪を送ります。強く吹かないで、優しく周りから吹いて下さい。



下向きにしていることで、ホコリは下に落ちてくれます。上向きでは吹き飛ばしたホコリがまた内部に落ちてしまうから下向きにするのです。

この時にミラー付きのカメラの場合、ミラーにフロアーの先端が当たらない様に気を付けて下さい。ミラーレスの場合はセンサーに当たらない様に注意しましょう。

元々レンズが付いて、密閉空間ですからホコリが入らないのですが、問題はレンズ交換の時なのです。撮影に行ってここは別のレンズで撮ろうと思って急いでレンズ交換をするとその時にカメラかもレンズも上向きになって、ホコリが入ってしまいます。

ですから、レンズ交換の時には十分気を付けて場所を選んでレンズ交換をして下さい。

では次にレンズをボディに噛み合わせるマウント部分の掃除です。今のカメラは殆どがバヨネット式で着脱が簡単に出来る様になっています。

この噛み合わせ部分も一応点検して軽く綿棒で汚れを拭き取って下さい。

最後に大切な接点の掃除です。いつまでも下向きでは大変ですので、やや下向き程度で作業をしましょう。この接点はレンズとカメラ内部のコンピューターをつなぐ大切な役目で電気が流れなくなると絞りやシャッター速度が正常に働かなくなったり、ピント合わせや露出の計算が出来なくなってしまうのです。シリコンクロスなどで丁寧に拭き取って下さい。

梅崎 桂子のページ

斜面一面の水芭蕉

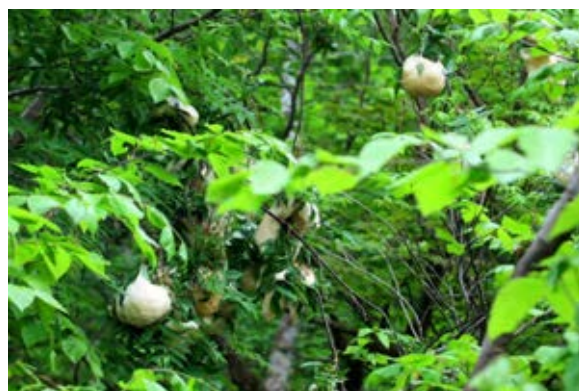


三白平トレッキング

令和元年 6月撮影

白馬槍温泉の麓 雪の時期だけに渡れる
三白平トレッキングは、
斜面一面の花々でした

モリアオガエルの卵

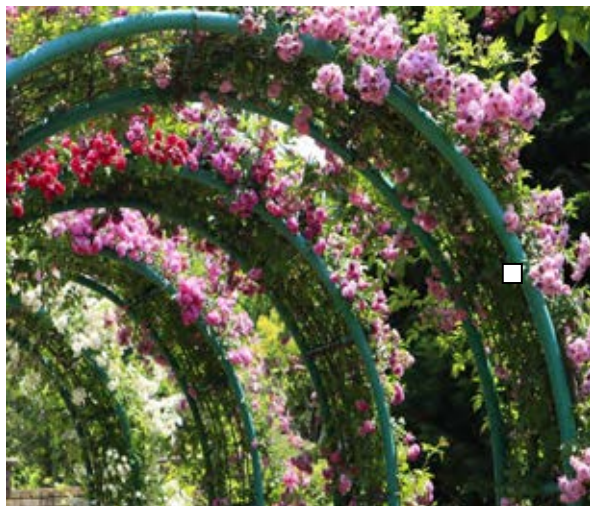


雪解け斜面にシラネアオイ



森恵美子のページ

バラの香りと不思議な花
平塚 花菜ガーデン

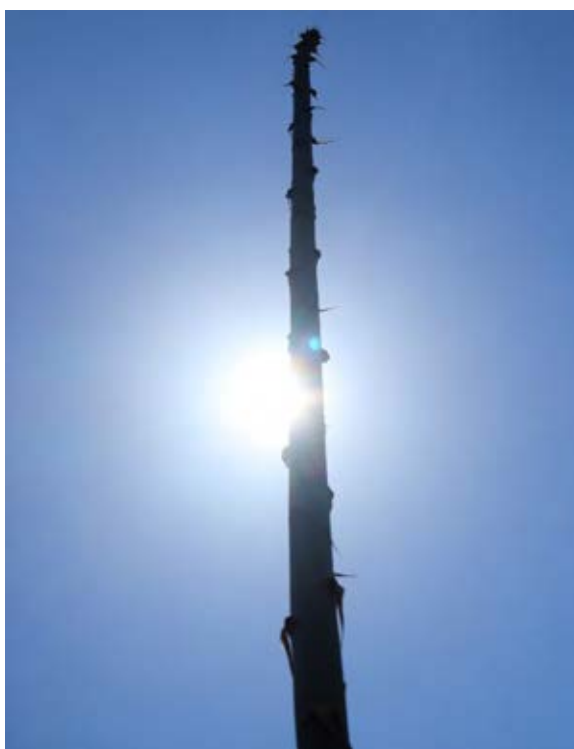


エキウム・ウィルドプレッティ
スペイン領カナリヤ諸島に自生し4月下旬～5月上旬に約2万個の花が付く



リュウゼツラン属アガベ

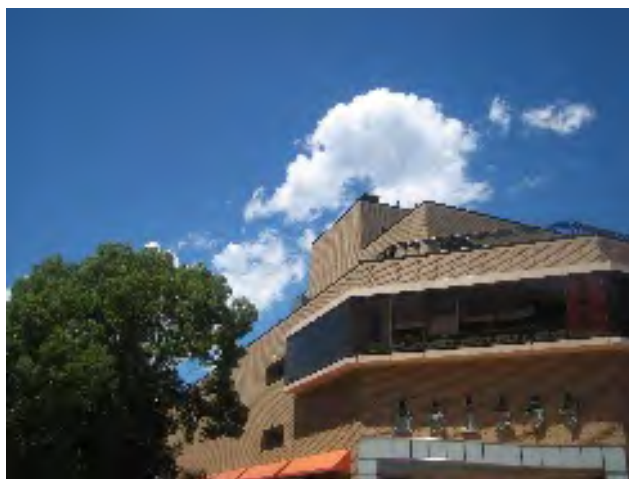
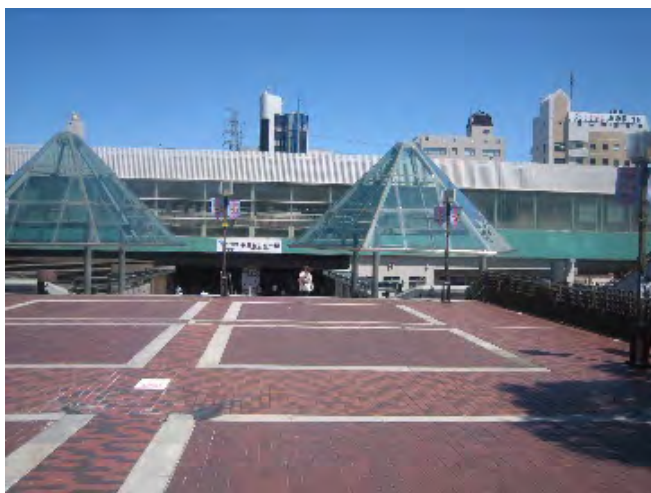
メキシコ中心に自生する
花茎が伸びてその先が開花するが結実後に枯れる



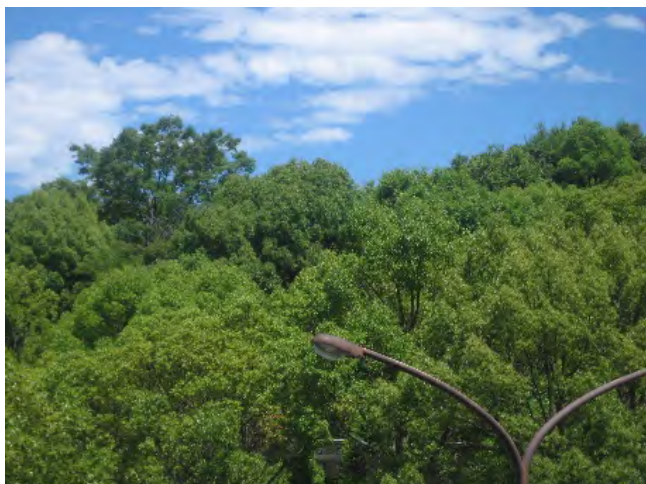
瀧 亀久男のページ

梅雨の合間に空を見上げて

6月中旬多摩方面に出掛けました。連日の梅雨空にお手上げの状態でしたが、この日だけは別格で青空に雲が湧き出し信じられないような風景に出会いました。長生きはするものです。



小田急多摩センター駅からパルテノン多摩までの歩行者専用道路『パルテノン大通り』を歩く途中空の青さと雲の美しさに感動





金井陽子のページ



東京サマーランド



北杜市 オオムラサキセンター



行田 古代蓮の里

野口 強のページ

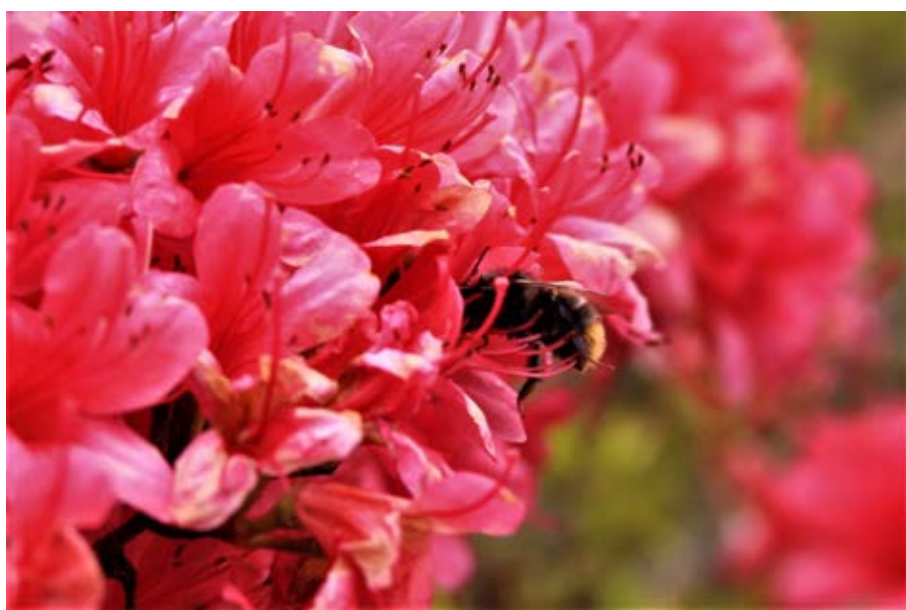
愛川町景勝地巡り、勝楽寺





細川隆雄のページ

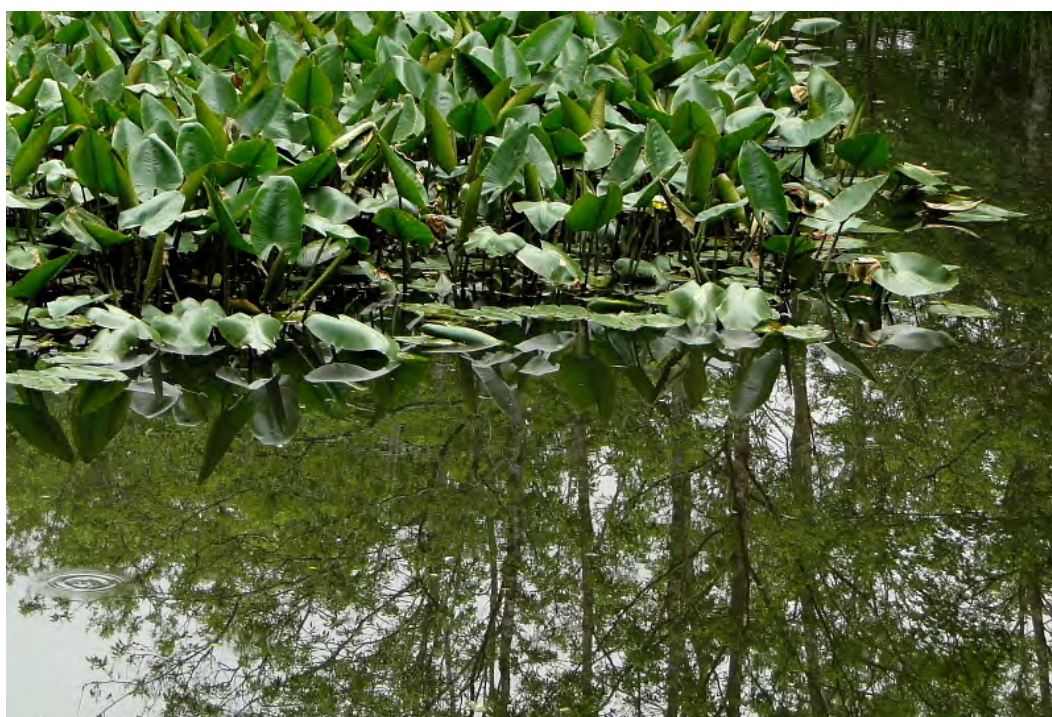
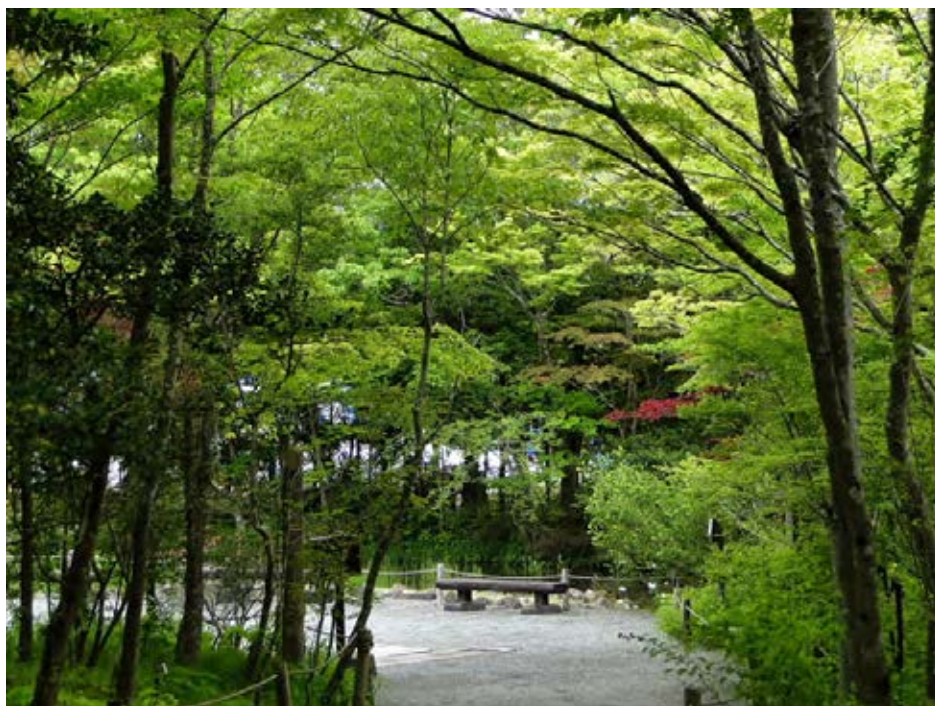
お花と昆虫をテーマに
してみました。

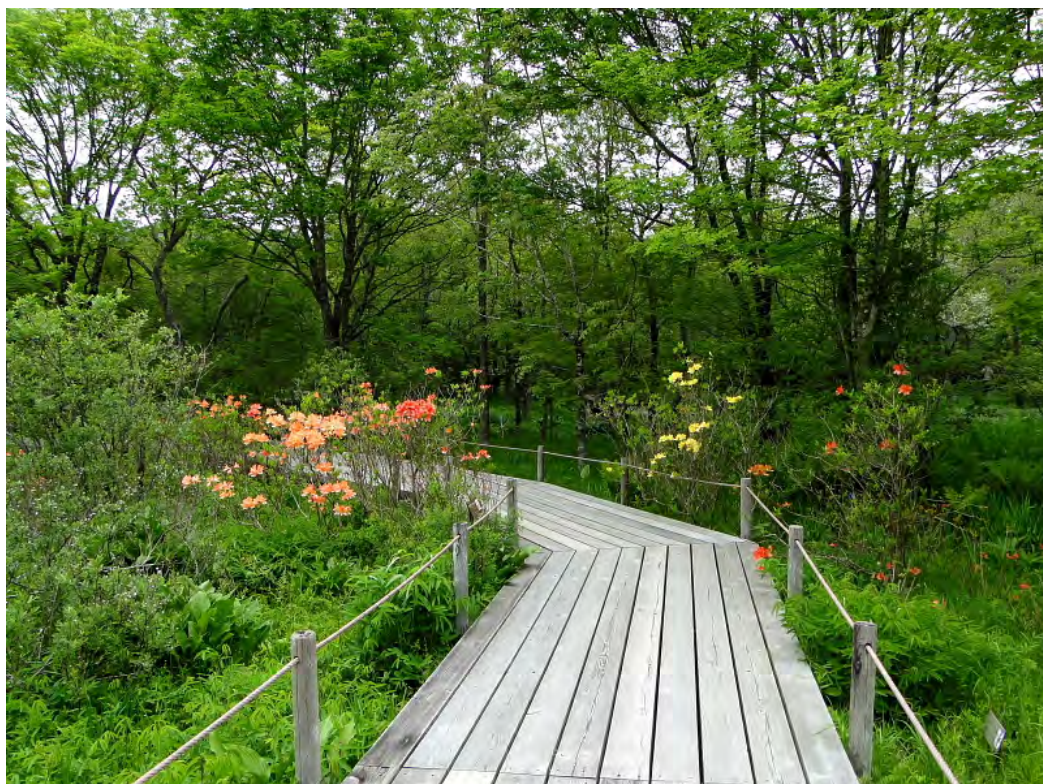




武富正義のページ

箱根湿原花園

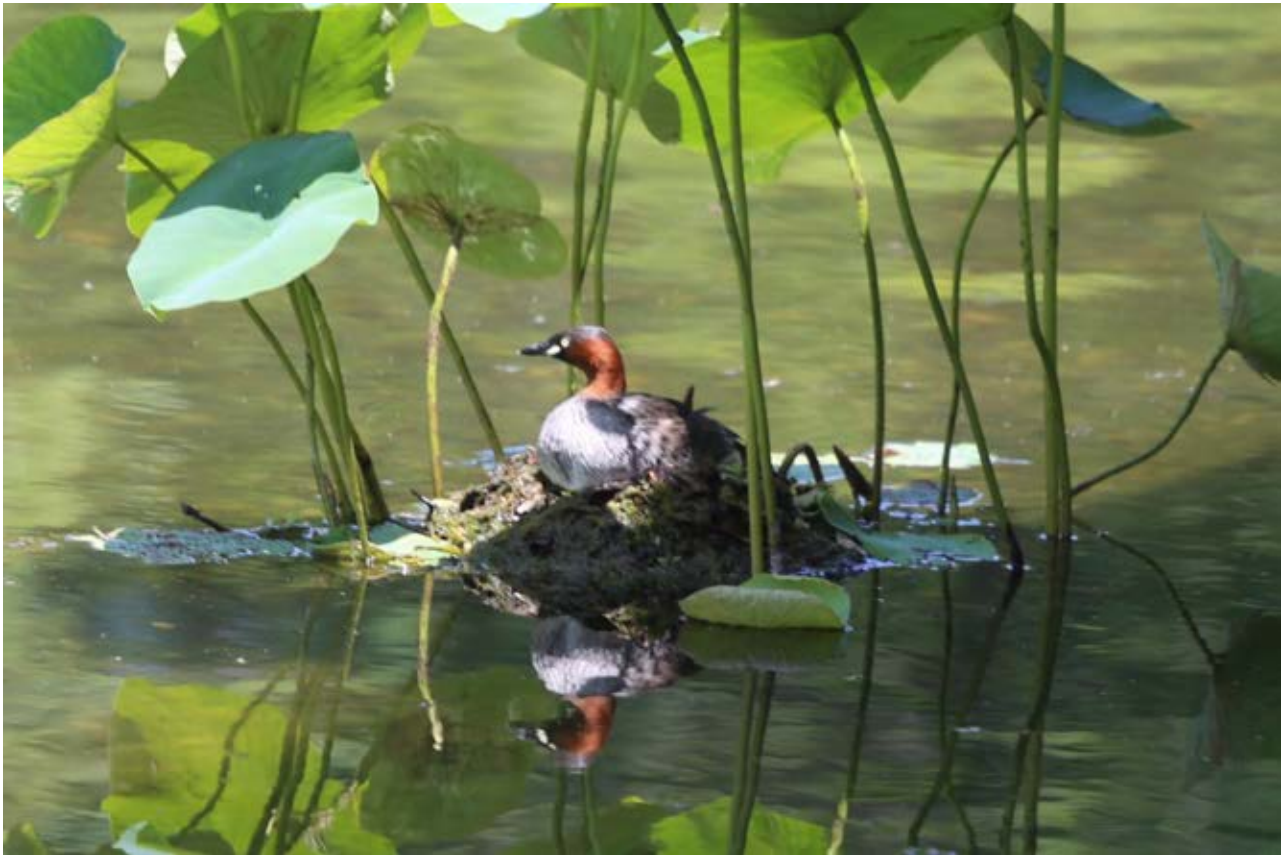




上 田 良 光 のページ

国営昭和記念公園 日本庭園

かいつぶりが抱卵中もうすぐヒナ誕生！



水面に写る睡蓮花



梅雨の青空に向かって

タイサンボク



タチアオイ



谷元 範章のページ

相模原北公園のアジサイ



タイ釣り草



ギボウシ



吉次宣哉 のページ

大船フラワーセンター



横浜イングリッシュガーデン

